

「風水害等災害対策部会」の検討報告について

1 趣旨

想定し得る最大規模の浸水想定区域図等を踏まえた被害想定算出を行い、被害の全体像を明らかにするとともに、被害想定の結果を踏まえた風水害リスクシナリオや対応方針について検討を実施

2 開催概要

区 分	主 な 内 容
第1回 令和4年12月12日	・名古屋市防災会議風水害等災害対策部会 ・被害想定検討
第2回 令和5年2月1日	・被害想定検討
第3回（持ち回り） 令和5年3月23日～28日	・被害想定検討 ・想定し得る最大規模の風水害に係る対応方針
第4回 令和5年5月10日	・被害想定検討 ・想定し得る最大規模の風水害に係る対応方針
第5回（持ち回り） 令和5年7月21日～25日	・被害想定検討 ・想定し得る最大規模の風水害に係る対応方針
第6回（持ち回り） 令和5年11月6日～9日	・被害想定検討
第7回 令和6年3月29日	・最終報告

3 部会名簿（五十音順、敬称略）

氏 名	所 属 ・ 職 名
荒木 裕子	京都府立大学生命環境学部環境デザイン学科 准教授
田代 喬	名古屋大学減災連携研究センター 特任教授・副センター長
松尾 直規 (部会長)	中部大学 名誉教授
水谷 法美	名古屋大学大学院 教授
溝口 敦子	名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授 東北大学 災害科学国際研究所 教授

※風害に関する事項については、奥田泰雄（国立研究開発法人建築研究所 構造研究グループシニアフェロー）専門委員に個別の意見聴取を実施